

町報

かわにし



◆町公式フェイスブック◆
町の情報を気軽にゲット!



みんなで楽しく料理を学ぶ
～かわにしまちキッズキッチン～

平成29年

12

vol 1163

特集 役場新庁舎の建設に向けて

「川西町新庁舎整備基本計画」を策定



▲新庁舎建設地。フレンドリープラザなどとともに、今後のまちづくりの拠点に

町ではこのたび、役場新庁舎の整備における基本的な考え方をまとめた「川西町新庁舎整備基本計画」を策定しました。今月号では、建設地に係る経過や基本計画の主な内容、今後の事業などについてご紹介します。

新庁舎の建設地を決定

「川西町役場の位置を定める条例」が可決

11月28日(火)、平成29年第5回町議会臨時会が開催され、これまで町が示してきた「山形おきたま農業協同組合本店の南側隣接地」を、新庁舎の建設地に設定するため、「川西町役場の位置を定める条例」を上程しました。

この条例は、地方自治法上、出席議員の3分の2以上の同意が必要とされるものですが、全議員14名(欠員1名)のうち、賛成10名、反対3名、退席1名となったことから、原案どおり可決されました。

「川西町役場の位置を定める条例」の概要

項目	内容
条例制定の内容	町役場の位置を「川西町大字上小松977番地1」と定める
施行日	新庁舎の竣工後、規則で定める日から施行
建設地の概要	位置：山形県東置賜郡川西町 大字上小松977番地1ほか 面積：11,447㎡(公簿面積)

より具体的な事業に着手

「新庁舎のための補正予算が成立」

基本計画の策定を受け、町では12月6日(水)から始まりました町議会12月定例会の冒頭に、基本計画策定後に実施する事業に係る補正予算を上程し、同日に可決されました。

今回の補正予算では、新庁舎の具体的な形を作り上げていくための基本設計・実施設計業務や、設計業者をプロポーザル方式(技術提案を審査し、評価の最も高い設計者を選定する方法)で選定するための委員会の設置、建設地の不動産鑑定、建設地取得などを盛り込んでいます。

「可決された補正予算の主な内容」

事業内容	予算額	実施年度
新庁舎に係る基本設計・実施設計	90,000千円	平成29～30年度
建設地の測量・造成設計	15,500千円	平成29～30年度
設計業者選定プロポーザル審査会の設置・開催	43千円	平成29年度
基本設計での専門的知見を持った事業者からの支援・助言	1,262千円	平成29年度
建設地の不動産鑑定	324千円	平成29年度

「川西町新庁舎整備基本計画」を策定

先月号の町報で紹介したとおり、計画策定にあたりアンケートや各地区説明会などを通じて多くのご意見をいただき、その意見を基本計画に反映するため、これまで内容の精査を行ってきました。

そのうえで「川西町役場の位置を定める条例」の可決を受け、同日、「川西町新庁舎整備基本計画」を策定しました。

この基本計画は、役場庁舎のあり方や必要な機能の検討を踏まえ、町が目指す新庁舎整備の基本的な考え方を示すもので、今後の設計段階においてより細かな検討を行う際の指針となるものです。基本計画は本編と資料編の2部構成としており、今月号ではその主な内容を、次のページ以降でご紹介します。全体版は町ホームページに掲載してい

ますので、是非ご覧ください。一方、アンケートや各地区説明会では、新庁舎の移転に伴う現庁舎の跡地利用に対する意見も数多くいただきました。

基本計画では、現庁舎の跡地利用について「中央公民館のあり方や、小松地区交流センターの整備など、中心市街地の活性化を図るための検討を早急に進めていきます。」としています。

また、新庁舎の基本設計・実施設計業務と建設地の測量・設計業務は、国の支援期間である平成32年度まで着実に整備を進めるため、平成29年度から平成30年度の複数年間にわたって実施することとしています。

今回の補正予算成立を受け、今後は新庁舎整備に向けた具体的な事業を、スピード感をもって展開していきます。

川西町新庁舎整備基本計画

基本理念、基本方針及び基本的機能の体系

役場は、町民の生命と財産を守り、安全・安心の確保や発災時における円滑な復旧・復興に向けた拠点となります。また、「協働のまちづくり」を推進するための拠点としても位置付けられます。さらに、行政サービスを切れ目なく提供し、利便性を確保するために、町民から親しまれる役場であることが求められます。これらのことから、新庁舎建設の基本理念及び基本方針、基本的機能を以下のとおり設定します。

基本理念

町民の安全・安心を守り協働のまちづくりを推進する拠点

基本方針

(1) 町民の暮らしを守る庁舎

町民の生命と財産を守り、安全・安心の確保や発災時における円滑な復旧・復興を図るため、十分な耐震性・安全性を備え、発災時に迅速に対応できる災害対策本部機能を持つ庁舎とします。

(2) 町民にひらかれた利用しやすい庁舎

役場機能を集約し、来庁者の動線に配慮した利用しやすい配置とします。また、協働のまちづくりを推進するため、町と町民が相互に情報発信・交流するための拠点を整備します。

(3) ひとと環境にやさしい庁舎

来庁者が安心して利用できるための機能を整備するとともに、地球環境に配慮した庁舎を目指します。

(4) 効率的で機能性・経済性の高い庁舎

将来の行政需要の変化を踏まえつつ、効率的な行政サービスが提供できる庁舎とします。また、シンプルで機能的なデザインの庁舎とし、建設コストやライフサイクルコストに十分配慮します。

基本的機能

①耐震性・安全性の確保

ア 耐震強度の確保

②防災機能の確保

- ア 災害対策本部の設置
- イ 防災機器の充実
- ウ 災害時の庁舎ライフラインの確保
- エ 業務継続計画を担保できる庁舎

①行政機能の集約

- ア 役場事務所の集約
- イ 窓口、案内機能の向上

②情報発信・交流機能の充実

- ア 情報発信機能の向上
- イ 交流空間の確保

③議会の機能

- ア 議会の機能の向上

①ひとにやさしい機能の充実

- ア 相談機能、プライバシーへの配慮
- イ 利用者への配慮
- ウ 景観への配慮

②ユニバーサルデザインの導入

- ア 誰もが安心して利用できる構造
- イ 駐車場の配慮
- ウ 雪対策の徹底

③省エネルギー・省資源への配慮

- ア 自然エネルギー、自然素材の活用
- イ 効率的な設備の導入

①執務環境の効率化

- ア 職員が能力を発揮できる執務環境
- イ 文書・情報管理の適正化
- ウ 可変性・拡張性の確保

②建設・管理コストの縮減

- ア 建設コストの抑制
- イ 管理コストの縮減
- ウ ライフサイクルコストの低減

基本計画における新庁舎の概要

新庁舎の規模

新庁舎の規模・階層などは、現状や新庁舎に必要なスペース（情報発信、交流空間の充実、会議室の確保、ユニバーサルデザインの導入など）、安全性、建設コストなどを踏まえて、左記を基本とします。

《役場新庁舎等の規模》

項目	規模などの目安
新庁舎の規模（延床面積）	4,500㎡
新庁舎の階層	3階建
新庁舎の構造	鉄筋コンクリート造（RC造）、耐震構造
駐車台数	260台

《新庁舎の概算事業費》

区分	概算事業費	備考
本体工事	2,250百万円	建築・電気設備・機械設備工事
その他	1,363百万円	外構・車庫等工事、設計監理費、用地取得・造成、その他
計	3,613百万円	

【概算事業費】概算事業費は、国の単価を基本に、東京五輪や全国的な庁舎建設の集中などによる労務単価や資材単価の上昇や消費税アップなどを見込み、左記のとおり想定します。※あくまでも目安であり、今後事業費の縮減に向けて取り組んでいきます。

概算事業費と財源

【概算事業費】

【財源】国の期限付き支援事業である「市町村役場機能緊急保全事業」を活用し、財政負担軽減を図りながら新庁舎整備を進めていきます。なお、このほかに利用可能な補助事業なども積極的に活用を検討していきます。

《新庁舎の財源内訳》

財源の名称	概算事業費
市町村役場機能緊急保全事業債	2,631百万円
その他事業債	221百万円
庁舎建設基金、一般財源	761百万円
計	3,613百万円

スケジュール

新庁舎の整備スケジュールは、国の支援制度の期限である平成32年度までの新庁舎整備完了を目指すこととしており、これを踏まえると、スケジュールは左記のようになります。

事業区分	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
基本計画	→				
基本設計・実施設計		→			
用地取得・造成		→			
本体工事			→		
外構工事				→	
解体工事					→

町民の安全・安心を守る新庁舎を

基本計画の策定までには、多くのみなさんから貴重なご意見をいただき、本当にありがとうございました。

今回策定した基本計画では、新庁舎整備の基本理念を「町民の安全・安心を守り協働のまちづくりを推進する拠点」としています。災害が発生した際の円滑な復旧・復興が可能となり、町民のみならず安心して暮らし続けることのできる基盤となる庁舎を早期に整備するため、これからの取り組みを進めていきます。

また、今後の設計段階では、町民のみならず参加いただくワークショップなども計画していきます。詳細は別途お知らせしますが、町民みなさんと町が共に作り上げる新庁舎を実現するため、これからも丁寧な説明を行いながら事業を推進していきますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

町未来創造室
☎4216604

「第3回山形かわにし豆の展示会」大盛況！ 仕掛け人に聞く、人気の秘訣とこれから



12月1日(金)～3日(日)の3日間、東京都台東区上野の「上野桜木あたり」を主会場に、「第3回山形かわにし豆の展示会 With 山形かわにし絵の展示会」が開催され、昨年の3900人を上回る、3会場でのべ5650人もの方に訪れていただきました。

なぜここまで人気で、豆を使ったPRがなぜこれほどまで広がっているのか。本展示会の仕掛け人であり、町総合計画推進アドバイザーでもある中村智彦教授（神戸国際大学・兵庫県）にお話を伺いました。

おしゃれなPRを

今年で3回目を迎えた「山形かわにし豆の展示会」。開催場所や販売物品、スタッフの衣装に至るまで「お洒落で、かっこいい」にこだわっています。このスタイルのきっかけは、初めて展示会を開催するためにおこなった打ち合わせで、「東京で物品販売をする、法被はっぴにのぼり旗がつきもので格好悪い。」という意見や「よくいつまでするの？最終日にまたくるね」といわれると、値下げを狙っているのがわかっていやになる」といった意見が出たことです。これを聞いた事務局は、「若い人やスタッフが楽しんで、周りに自信をもってPRできるような展示会」にしようとするさまざまな視点からこだわっていききました。

場所の選定にあたっては、①平日でも人通りが多く、集客に期待できること②周辺の店舗の価格帯が比較的高いこと（安売り目当てではない）に特に気を配り、いくつかの候補地から選んだのが、東京都台東区上野にある、古民家を再生した複合施設「上野桜木あたり」です。

中村 智彦氏

○神戸国際大学教授
○川西町総合計画推進アドバイザー

1964年東京都生まれ。1999年、名古屋大学大学院国際開発研究科博士課程修了。大阪府立産業開発研究所、日本福祉大学経済学部助教授を経て現職。専門は中小企業論と地域経済論。現在、愛知県愛知ブランド推進委員、東京都北区産業活性化ビジョン検討委員会副委員長などを務める。



持っていくものも、どこでも買えるようなものではなく、「ちょっと楽しめるもの（試食や試飲）」と「地元でしか買えない限定品」を中心にしました。また、スタッフ全員がドレコードを決め（水玉の蝶ネクタイや靴下などシンブル）会場の雰囲気合うおしゃれな格好で接客にあたりました。

展示会が繋いだ交流

また、この展示会をきっかけに、展示会のスタッフや、プライベートや出張の合間に上野桜木あたりなどを訪れ、お世話になった方々と交流を深めたり、逆に、お世話になった方々が川西町を訪れてくれたり、展示会以外での交流も継続しています。

さらに、この展示会には豆を取り扱う大手業者や、近隣の料亭関係者なども訪れ、町産の紅大豆を中心に、新たな取引が着々と定着しています。

飲食店とのタイアップも10数店舗できていますが、こちらから食材を無償提供したわけではなく、飲食店側が食材を「買い取り」でレシピを考案し、その店舗のメニューにしてくれています。その店舗で食べたお客様が豆料理を気に入って、豆に興味を持ち、豆の展示会に足を運ぶという相乗効果が生まれています。

また、豆を使用した加工品でもさまざまな取り引きが生まれています。特にカゴメ株式会社は、数量限定の紅大豆ギフトセットを購入したお客様を対象に、川西町の暮らし体験ツアーを今年9月に実施しました。ツアーは「購入者の中から抽選で無料招待」で

はなく、参加者が、町までの交通費と参加費を負担しています。加えて、企画運営をやるまがた里の暮らし推進機構が担い、業務委託の手数料をカゴメ株式会社からいただいています。こちらから一銭も出していないのが特徴です。

これは、「お金を払ってもらう代わりに、いい品物を出す」という我々のコンセプトを貫いたうえで、その考え方に共感していただいた方と付き合いをしているからこそだと思います。

このように、地道に活動を継続していくなかで着実に「川西町」の認知度が広まっているのを感じています。

「豆の次」を掘り起こす

豆の一点突破でここまでの成果が得られていることには自信を持っています。今後は「豆がおいしいんだから、ほかにもあるだろう」と思ってもらえるように、米・ダリア・地酒などの地域資源を掘り起こし、少しずつ展開していきたいと考えています。

そこでも重要なことは「事務局は裏方に徹し、主役は地元の方」ということです。これからもその役割に徹しながら、「豆のあるまちかわにし」の発展に期待しています。

町まちづくり課 地域振興グループ
☎42-16613



- ①こだわりの会場「上野桜木あたり」。昨年を上回る5,650人が押し寄せた。
 - ②まるで川西町。川西のばあちゃんとお茶飲み話。
 - ③川西町を絵で表した「山形かわにし絵の展示会」。上野の森美術館スケッチツアーでの作品。
 - ④会場となった「上野桜木あたり」
 - ⑤前回も大人気だった「じいちゃんの土間」。伝統の技と、方言を一度に味わえる。
 - ⑥川西の地酒の試飲コーナーは、長蛇の列が出るほど人気。
 - ⑦石臼引きできる粉を作る体験コーナーは子どもたちにも大人気。
- ※写真提供：やまがた里の暮らし推進機構

トークメンバー



大木 裕輔さん (東沢)
2分の3成人式実行委員長
高校の先生をしながら、積極的に地域活動にも参加。小学校の跡地有効活用を地域ぐるみで協議中。



宮坂 尚美さん (米沢市)
2分の3成人式実行委員
3人の子どもを育てる母親。子どもが屋内で遊べる施設など、子育てに有効活用できる場所を望む。



本間 翼さん (上小松)
2分の3成人式実行委員
家業の傍ら、趣味で始めたマウンテンバイク大会が今年20年を迎えた。子どもたちにも広めたい。



尾形 直子さん (下奥田)
2分の3成人式実行委員
数年ぶりに行ったダリヤ園に魅了されて、川西町の魅力を自分なりに伝えていきたいと感じている。

町長とのふれあいトークを開催！

～みそじんと未来を語る～



町では、広聴事業として、毎年さまざまなテーマを設定して「町長とのふれあいトーク」を行っています。
今回は、昨年度はじめて開催された「2分の3成人式」の実行委員のみなさんに参加いただき、今頑張っていることや10年後の目標などをテーマに意見交換を行いました。

トークメンバー

今回のふれあいトークに出席し、活発な意見交換をしてくれた皆さんです。お忙しい中出席いただき、ありがとうございました。



高橋 亜由美さん (玉庭)
2分の3成人式実行委員
生まれ育った玉庭地区が大好きで、そこで仕事づくりを含めて、人を呼び込むきっかけを考え中。



大滝 謙介さん (玉庭)
2分の3成人式副実行委員長
玉庭地区の里山再生事業をとおして、雇用の創出やエネルギーの資源循環の方法を探っている。



島津 友幸さん (吉田)
2分の3成人式副実行委員長
3人の娘の父親として子育て支援の拡充を望んでいる。川西中学校野球部でコーチをしている。

テーマその1 自分が今がんばっていること、思っていること

島津 友幸さん (吉田)
女性が「生活したい」と思う町に

私には小3、小1、2歳の子どもがいますが、川西町は子どもが遊ぶところが少ないと思っています。学費や保育料が軽減されたり無償化になれば女性も住みたいと思うし、ここで生活したいと思うのではないのでしょうか。
また、川西中学校野球部のコーチをするなど、この町で楽しいことを見つけてながら生活しています。先輩方を見て、いいなと思ったことはこれからは続けていきたいです。

原田町長 一生懸命3人の子どもを育てているのは頼もしいです。子どもをとおして保護者会など地域とのつながりが生まれてきます。子どもを育てることは、親も育つ事だと思っています。いろんな経験ができることは素晴らしいことだと思います。

高橋亜由美さん (玉庭)
大好きな玉庭地区で生活していきたい

わたしは、大好きな玉庭地区で子育てをしたいと思っています。しかし、今後さらに子どもが減ってしまうこと

に危機感を抱いています。子どもが減り、小学校が統合され、地域のおまつりや、子どもたちの地元愛が無くなったり、小さいころに熱い仲間づくりができないのでと心配です。
また、わたしは今、障がい者施設で仕事をしていますが、例えば、NPO法人を玉庭で立ち上げて、障がい者が就労できる場と合わせて玉庭に来てもらえる仕組みづくりを考えています。

原田町長 玉庭に住み続けられる仕組みをなんとか生み出したいという考えはすごくありがたいし、応援したいと思います。

大木裕輔さん (大舟)
若い人たちが協力できるシステムを

高校卒業してから4年間町外で働いて、地元よさをすごく感じました。
東沢に帰ってきて、消防団活動の他に、地区の若い人で東沢を活性化しようとして活動しています。今は小学校の空

き校舎の有効活用方法を検討していて、地区の全戸アンケートを行っています。地区の方々にどういう役割を担ってもらえるか、活躍できることを記入してもらい、これから集約していきます。
また、最近は何かが面倒くさいという若い人が多いので、そういった人たちをうまく取り込んで手伝ってもらおうシステム作りが課題かと思っています。

原田町長 自分たちより若い世代とは、趣味や遊びなど話をするきっかけをどう作るかが大切です。同年代の人以外と関わりを持つことでそこからまた広がっていきます。

宮坂尚美さん (米沢市)
子どもが屋内で遊べる施設を

わたしは小1、年中、2歳の子どもがいて、子どもを遊ばせるときは米沢市や山形市にいきます。川西町は雪が多いので、子どもが屋内で遊べる施設

がほしいですね。先月の町報を見て、現庁舎の跡地には子育てに有効活用できる施設を作ってほしいなと思いました。
町外で子育てしていると、川西町には、インフルエンザのワクチンに対する助成金があって羨ましいと思います。そういうところに支援してもらえるのは、子育て世代にはとってもありがたいので、ぜひ継続してほしいです。

本間翼さん (上小松)
大会に参加する子どもが増えれば

趣味から始まったマウンテンバイクの大会(以下MTB大会)が大きなイベントになっていきます。大会運営は、募集・告知・会計までほぼすべてをわたし一人でやっています。今後参加者が増えてくるとますます負担が増えてきます。

一方で、MTB大会に参加している親御さんは、「子どもも参加させたい」と思ってくださるよう、大会に参加

する子どもたちが徐々に増えてくれればいいなと思っています。

原田町長 イベントとしてここまで定着させた本間さんの頑張りはずいと思っています。これからは、個人の頑張りだけで続けられるものではないので、限界が来る前に仲間を増やしたりしなければなりません。

お父さん、お母さんがライダーだと子どももライダーになっています。一生の趣味として、生きがいとして楽しめる時間を過ごすことができると思います。親子の関係も含めて大事なことです。

尾形直子さん (下奥田)
町の良さを宣伝できるようにしたい

一度県外に出たことで、川西町に物足りなさを感じてしまうこともありましたが、逆に、川西町の良さを感じることも沢山あります。地元に戻ってくる同世代の仲間がいたり、仕事で人の



温かさに触れたりする中で、「安心して暮らせる場所」になってきています。また、久しぶりに川西ダリア園に行きました。こんなに川西町で盛り上がりつつあるところがあるんだと改めて感じました。川西町の魅力は探せばあるので、わたし自身、ほかの人にも川西町を宣伝できる知識があったらいいなど感じています。

大滝謙介さん (玉庭)

地域資源の地産地消を仕事に
わたしは木を切る仕事をしています。今はひとりではなく、もっとチームで山をフィールドにした仕事づくりができませんかと思っています。たとえば、冬に使う暖房を薪ストーブ、ペレットストーブでにすることで、エネルギーを地域で作って出して、地域で消費するという「地産地消」になって、そこで仕事も生み出せます。

他にも、町有林整備を請け負う町内団体を組織し、雇用を生み出すなど、もう少し町の中で循環が生まれる仕組みを、町としてもテコ入れしてもらえば、仕事があり、住むところもあるとなれば、都会の若い人、子育て世代にとっても魅力的に見えると思います。役場の新庁舎跡地利用で、子どもの遊び場を作るのはいい発想だと思います。明確な跡地利用のプランがある上での移転であれば賛成です。サイゾ的



▲町の将来に思いをはせて、施策の説明に耳を傾ける出席者たち

にあまり大きくなる過ぎずミニマムな役場づくりがいいと思います。

原田町長 町の自然エネルギー利用はやっていきたいと考えています。仕事は、終身雇用の職業ではなく、農業や林業、福祉サービスなどを複合させ隙間を埋めながら新たな業態をつくることが可能性があると思っています。役場の新庁舎は、大きな事業なので見通しをしっかりと立てなければならぬと強く思っています。

もってきて盛り上げたいと思っています。そのために、手作りのものを販売できるおもしろいイベントを玉庭でも開きたいと思っています。おもいで館を会場として、子育て世代も楽しめるようなイベントにしたいと思っています。そのような催しを今後10年で開催したいと思っています。玉庭の若者が集まっているグループがあるので、そこで協力して進めていきたいです。

そのようなイベントをとおして、町に「補助金を出させてください」と言わせるのが私の目標で、町を代表するイベントにしたいです。

原田町長 エネルギーがある人には人が集まってくると思います。実現できると思います。



▲今年初開催だった2分の3成人式の様子

テーマその2 身近な夢と、10年後の夢

本間翼さん 観光分野でもっとたくさんの人に協力してもらいながらやっていき、わたし自身もさまざまなことをやっていきたいです。10年後は今やっていることを整理しながら、新しいことにも取り組んでいきたいです。

大木裕輔さん 東沢地区を盛り上げるためにさまざまな面で貢献したいと思っています。

10年後は、これから高校の統合再編問題もでてきている中、置賜農業高校をなんとか単独校として残していきたいようにしたいと思っています。仕事以外の面では、東沢小の活用や地域貢献をやっていけたらと考えています。

原田町長 置賜農業高校が単独校として川西町に残り続けないと、人が集まってくれないので、発展できるように支援していきたいです。

島津友幸さん 近々でやりとげたいのは、わたしがコーチをしている川西中学校野球部が、来年の中体連で県大会優勝することです。10年後は、漠然とですが多くの子どもたちの身体能力や運動能力をあげられたらいいと思います。

大滝謙介さん まずは、仕事を確立すること、地域に雇用を生み出せることをやっていきたいです。今年、みそじん式をやって同世代の仲間たちと出会えたのはすごく良かったと思っています。今やっていることの積み重ねが10年後に繋がっていくと思っています。まずは目の前のことに取り組んでいきます。

まとめ 町長から若者たちへ

みそじん式をやったことで、家庭や仕事など、それぞれ目の前にあることはさまざまなでも、気心知れて、困ったときには声をかけてくれる仲間、関係が作れたことは大事にしてほしい。この輪を広げてほしいと思っています。わたしは、34歳で議会議員に立候補し、政治の道に入っていきました。議員になるだけではなく、町の仕組みに参画することはいろいろな方法があります。町議員の活動を応援したり、意見を言ったり、公募して委員になる方法もあります。みなさんがいろんな声を出しやすい環境をつくっていききたいと思っていますので、そのような機会があればぜひ積極的に参加してほしいと思っています。

町まちづくり課 情報統計グループ
☎4216668

れるような活動がしたいと思っています。競技はなんでもいいので、スポーツを教えるのではなく、楽しく遊ばせればいいと思います。関わる人が楽しくなければ子どもたちも楽しくないと思っています。

尾形直子さん 今の生活が結構楽しくて、不自由しているわけでありませんが、10年後を考えたとき、家庭を持ち、仕事も続けたいと思ってますし、それに向けてちゃんと目標を考えようかと思いました。

もう一回集まったときに面白い話ができたらいいなと思いますし、川西町には今後も住み続けたいと思っています。

宮坂尚美さん まずは子どもをしっかりと育てようと思います。子育てにゴールはなくとも、日々の健康管理からしっかりしていきたいです。また、看護師の資格を持っているので、その資格を活かせたらと思っています。

10年後は、家の仕事が観光関係なので、先祖が受け継いだものを絶やすことがないよう守っていききたいです。
高橋亜由美さん わたしは好きな玉庭をおこして、いい余波を川西町にも

告知!

2分の3成人式開催

【日時】平成30年1月6日(土) 午後3時

【会場】浴浴センターまどか

【対象者】昭和61年4月2日、昭和62年4月1日生まれの方

【おもな内容】

- 午後3時〜 式典
- 30歳の主張や記念撮影など
- 午後4時〜 懇親会
- 旧友たちと楽しいひとときを



▲実行委員会メンバーが議論中!



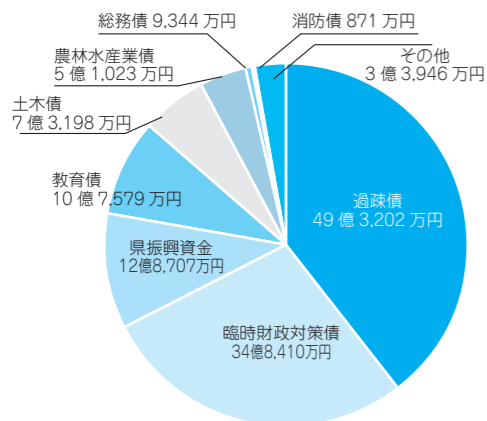
出欠連絡はこちらのQRコードから!
○氏名(旧姓)
○卒業中学、クラス
○式典の出欠
○2次会の出欠
を記入して送信!

一般会計歳入歳出予算額

105億9,263万円(前年度からの繰越分を含む)

町債現在高

124億6,280万円



民生費 (35.4%)	21億5,673万円	7億6,454万円
衛生費 (54.1%)	18億47万円	9億7,482万円
総務費 (40.2%)	15億8,584万円	6億3,826万円
教育費 (45.1%)	13億7,204万円	6億1,828万円
公債費 (30.4%)	11億9,350万円	3億6,242万円
農林水産業費 (41.7%)	8億8,094万円	3億6,708万円
土木費 (38.7%)	8億4,056万円	3億2,515万円
その他 (54.8%)	7億6,255万円	4億1,786万円

地方交付税 (66.5%)	48億9,110万円	32億5,464万円
町債 (0.0%)	13億258万円	0円
町税 (65.6%)	12億4,514万円	8億1,640万円
県支出金 (28.2%)	8億489万円	2億2,705万円
国庫支出金 (29.8%)	6億1,000万円	1億8,208万円
地方消費税交付金 (50.6%)	3億1,500万円	1億5,941万円
その他 (34.6%)	14億2,392万円	4億9,234万円

平成29年度 上半期

財政公表

平成29年9月30日現在

■ 予算額
■ 収入・執行済額
()内の%は予算額に対する収入・執行済額の割合

歳出

執行率42.2%
執行済総額

44億6,841万円

歳入

収入率48.4%
収入済総額

51億3,192万円

各会計町債現在高

水道事業会計	19億1,759万円
下水道事業会計	34億4,493万円
農業集落排水事業会計	6億1,825万円

基金

※平成29年3月末日現在高との比較

区分	平成29年9月末現在高	増減
財政調整基金	6億3,460万円	△1億6,117万円
庁舎建設基金	3億1,006万円	1億5,001万円
国民健康保険給付基金	1億6,174万円	0円
町債管理基金	1億2,229万円	△1億4,997万円
人材育成交流基金	9,903万円	△821万円
起業支援基金	9,794万円	△124万円
子育て支援基金	8,875万円	△1,344万円
ふるさとづくり基金	6,589万円	5,302万円
土地開発基金	6,016万円	1万円
スポーツ振興基金	1,272万円	251万円
その他	1億5,209万円	2,576万円

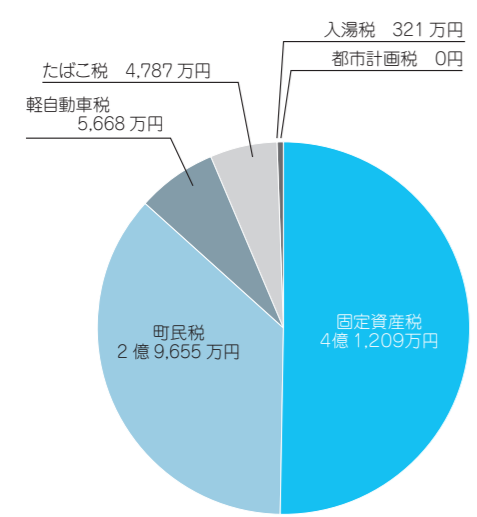
特別会計

〔特定の事業を行うために、一般会計と区分して経理する必要がある場合に設けられる会計のことです。〕

区分	予算現額	収入済額	執行済額
国民健康保険事業	21億198万円	7億7,959万円	8億4,660万円
下水道事業	5億2,799万円	2億6,101万円	1億5,655万円
農業集落排水事業	9,076万円	4,580万円	3,406万円
介護保険事業	19億8,170万円	7億9,527万円	7億6,231万円
後期高齢者医療	1億6,658万円	5,038万円	4,802万円

町税

8億1,640万円



公有財産

※平成29年3月末日現在高との比較

区分	平成29年9月末現在	増減
土地	7,315,770㎡	2,407㎡
建物	91,182㎡	△340㎡
有価証券	3,435万円	0円
出資による権利	1億5,358万円	0円

公営企業会計

〔一般会計などと異なり民間企業に似た経理を行う会計で、収益的収支と資本的収支に区分されています。〕

◆水道事業会計

区分	収入	支出	差し引き
収益的収支	2億4,346万円	1億4,498万円	9,848万円
資本的収支	0円	7,284万円	△7,284万円

みなさんに町の財政状況を理解していただくため、毎年2回、上半期と下半期に分けてお知らせしています。今回は、平成29年9月末現在の状況をお知らせします。

通常町の会計は、地方自治法に基づき設けられていますが、特定の事業を行うなど独立性をもって行う場合は、一般会計と区別して特別会計を設けることができます。本町では、国民健康保険事業、下水道事業、農業集落排水事業、介護保険事業、後期高齢者医療がこれにあたります。

本町にはこのほかに、地方公営企業法に基づく水道事業を含めると、全部で7つの会計が設けられています。

◎町未来づくり課 財政グループ ☎42-6611

町の財政状況をお知らせします

平成29年度 上半期財政公表
各種表彰
監査報告・防災
税関係・年金
マイナンバー
冬のイベント等
子育て応援
文化財
勤労者生活応援
健康福祉①
健康福祉②
くらしのこころの情報
プラザ・町長
ちまる情報

「錦屋」が 国登録有形文化財に 答申される



11月17日(金)に文化庁にて開催された文化審議会文化財分科会にて、本町上小松の老舗菓子店「錦屋」の店舗兼主屋と内蔵を国登録有形文化財とするよう答申されました。

錦屋は寛政二年創業の菓子舗。店舗兼主屋は、江戸後期の建築で、その後増築や改築を経て現在の形になっています。この地域の町屋の特徴を残す建物で、茅葺屋根の外観は棟を並べる内蔵とともに地

域の景観を良好に形成しています。なお、この物件は現在も大切に維持管理が行われ、現役の店舗として活用されています。

本件を含めると、本町の国登録有形文化財は、計12件(樽平酒造7件、掬粋巧芸館2件、山形鉄道西大塚駅1件、錦屋2件)になります。

町生涯学習課 生涯学習グループ
☎44-2843

代表監査員が全国町村監査委員 協議会長表彰を受賞



11月1日(水)、東京都内で開催された「平成29年度町村監査委員功労者表彰式」で、本町代表監査委員の島貫憲明さん(洲島)が町村監査功労者として全国町村監査委員協議会長表彰の栄に浴されました。この表彰は、町村監査委員として7年以上在職し、功労があった方が表彰されるものです。

島貫さんは平成22年3月に

協議会長表彰を受賞

町代表監査委員に就任されて以降、現在まで2期7年にわたり監査事務に精励され、地方自治の振興発展及び健全運営に貢献されており、今回表彰されることとなりました。受賞された島貫さん、本当におめでとうございます。これからも引き続きよろしくお願いいたします。

町監査委員事務局
☎42-6674

適正な処理と認められる 〜定例監査結果〜

地方自治法及び川西町監査の執行に関する条例に基づく監査を実施した結果、適正な処理と認められました。監査結果の詳細は次のとおりです。

▼監査の種類

- 地方自治法第199条第4項及び川西町監査の執行に関する条例第2条の規定に基づく定例監査
- ▼監査執行日及び対象課等
○10月26日(木)
- 税務会計課、地域整備課
- ▼監査委員の氏名
島貫憲明、高梨勇吉

▼監査対象事項

- 主に平成29年度の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業管理に関する次の事項
- (1)歳入の調定及び収納
- (2)歳出の予算経理
- (3)町補助金等の交付決定
- (4)支出負担行為における入札及び契約
- (5)その他、必要と認める事項

▼監査の手続き

各課が所管する財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理に関する事項において、適法性、効率性に留意し関係書類、資料の提出を受け、書類監査及び関係職員からの聴き取りを行った。

▼監査の結果

監査対象事項において、適正に処理されていた。
町監査委員事務局
☎42-6674

民生委員活動の功績により知事表彰を受賞



▲島貫明さん(中央)と山口和子さん(右)

島貫明さん(上小松・写真中央)と山口和子さん(小松・写真右)が、社会福祉功労者知事表彰を受賞されました。

島貫さんは、平成10年から28年まで、18年間の長きにわたり民生委員として地域福祉の向上に尽力されるとともに、平成22年から町民生委員児童委員協議会障害者福祉部会長、平成25年から同協議会副会長として、協議会の運営に貢献されました。

山口さんは、平成13年から28年まで15年の長きにわたり民生委員として活動され、地域住民の諸課題解決に尽力されるとともに、平成22年から同協議会副会長として、女性委員の立場から協議会活動の活性化に尽力されました。受賞されたお2人、本当におめでとうございます。

町健康福祉課 福祉グループ
☎42-6638

宝くじ助成金を活用し 防災資機材を整備しました

今年度の宝くじ助成を受け、町と吉島地区自主防災組織連合会で、それぞれ次の資材、機材を整備しました。

川西町

- D-1級軽可搬 消防ポンプ(1式)
- ※町消防団女性団員が第24回全国女性消防操法大会(平成31年度開催)に出場する際に使用するものです。
- 町総務課 危機管理グループ
☎42-6612



吉島地区 自主防災組織連合会

- 防災用かまど 23個
- LEDヘッドライト 60個
- 発電機 1台
- ワイヤレススピーカー2機 1台
- スピーカースタンド 2台
- ワイヤレスミキサー 1台
- プロジェクター 1台
- スクリーン 1台
- ※自主防災組織が行う災害時や訓練時に活用する備品として整備しました。



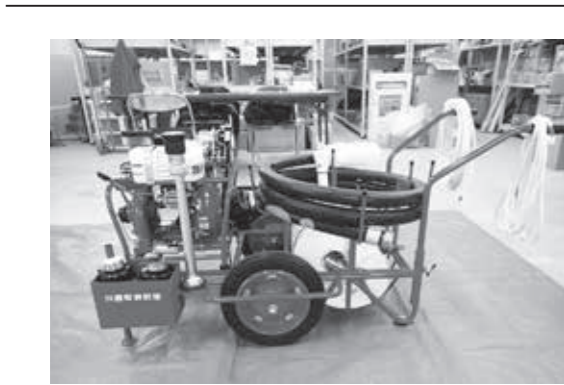
菅井新一さんが置賜社会教育振興会表彰を受賞

菅井新一さん(西大塚)が、置賜社会教育振興会表彰を受章されました。

菅井さんには、町体育振興公社職員及び町体育協会事務局長を永く務められ、置賜地域全体のスポーツ振興・発展と競技団体の育成や指導にご尽力いただきました。

また、町の総合型スポーツクラブ「スポーツかわにし」では、その創成期から中心を担い、さまざまな年齢層に

町生涯学習課 生涯学習グループ
☎44-2843



- 健康福祉①
- 健康福祉②
- くらしの情報
- プラザ・町長
- ちまる情報

平成29年度
上半期財政公表

各種表彰
監査報告・防災

税関係・年金
マイナンバー

冬のイベント等
子育て応援

勤労者生活応援
文化財

健康福祉①

健康福祉②

くらしの情報

プラザ・町長
ちまる情報

お忘れなく！税金の納付

口座残高の確認を

今月は、町県民税第4期、国民健康保険税第6期、介護保険料第6期、後期高齢者医療保険料第6期の納付月です。納付期限・口座振替日はどちらも12月25日(月)です。口座振替を利用されている方は、振替日前日までに口座残高をご確認ください。口座振替とならなかつた場合、再度の振替はできませんので、後日送付される納付書にて現金で納付してください。

納付期限を守りましょう

町税等を納付期限までに完納されない方には、督促状を送付しております。なお、納付確認には1週間程度を要するため、納付期限を過ぎてから納付された場合は督促状が送付されてしまうことがあります。トラブルを避けるためにも、納付期限内の納付をお願いします。

安心・便利な口座振替

納付月の口座振替日に指定の口座から納付できます。新たに利用される方、口座を変更される方、利用をやめる方は、金融機関窓口にある「川西町収入金口座振替依頼書」に必要事項を記入のうえ、金融機関へ届け出てください。毎月末日(ゆうちょ銀行は20日)まで金融機関で受理されたものは、翌月以降の口座振替日から利用できます。

すでに口座振替を利用されている方でも、新たな税目が発生した場合は、その税目の口座振替手続きをする必要がありますのでご注意ください。
●利用できる金融機関
(次の本店及び各支店)
山形銀行・山形おきたま農業協同組合・山形中央信用組合・米沢信用金庫・荘内銀行・きらやか銀行
・東北労働金庫
・ゆうちょ銀行

町税務会計課 収納グループ
☎42-6634

償却資産の適正な申告を



申告期限

平成30年1月31日(火)

町内で農業、商業、建設業などを営み、償却資産を所有している個人・法人のみならず、町に資産を申告するよう法律で義務付けられています。

町も、地方税法で適正な申告が行われているか調査することになっており、毎年税務調査を行っています。みなさんには適正な申告のご協力を願います。(確定申告で減価償却している資産と一致するようにお願いします。)

町税務会計課 町税グループ
☎42-6624

新たに「原動機付自転車」「小型特殊自動車」「農耕用作業車」を登録する方へ

原動機付自転車、小型特殊自動車、農耕用作業車を新規登録し、ナンバーの交付申請の際は、二重登録や盗難車の登録を防ぐために、次の書類が必要です。

- 販売店から購入した方
- 印鑑
- 車名や車台番号、排気量がわかるもの
- 販売証明書
- 町内の人から譲り受けた方
- 新所有者の印鑑

前所有者から譲渡されたことがわかる書類
●町外の人から譲り受けた方
●新所有者の印鑑
●前所有者が廃車した市町村で発行される、廃車証明書
ただし、軽自動車税申告書の右下の欄に販売店の社印や譲渡した人の住所、氏名の記載と押印があれば、証明書等の提示は必要ありません。

町税務会計課 町税グループ
☎42-6622

NEWS 町ホームページがさらに使いやすい

平成30年1月4日(木)から、町ホームページが生まれ変わります。検索機能の充実やアイコンの使用により、より使いやすいホームページになりました。詳しくは町報かわにし1月号でお知らせします。

【主な変更点】

- ▼目的に応じた3つの窓口
新たに総合情報ページを設け「移住定住」「暮らしの情報」「観光情報」の3つの窓口を作り、目的別に情報が探しやすいくなります。
- ▼検索機能の充実
キーワード検索機能を充実させ、クリックで探す手間を省略できます。
- ▼視覚的に情報を検索
情報の窓口をアイコン化し、視覚的に情報をとらえやすくなりました。
- ▼誰にでも使いやすい
文字サイズの調整、色反転や翻訳機能など、だれでも使いやすいように機能を充実させました。

町まちづくり課 情報統計グループ
☎42-6668

便利なマイナンバーカードが窓口で申請可能に

マイナンバーカードの交付申請が窓口でできるようになりました。申請希望の方は、次の申請手順に従って、手続きをしてください。

窓口での申請手順

- ①必要書類を持って住民生活課窓口へ
- 【必要書類】
●本人確認書類(運転免許証、健康保険証、年金手帳、年金証書などのうち2点)
●マイナンバー通知カード
●住民基本台帳カード(お持ちの方のみ)
※通知カード、住基カードは回収します。
②顔写真を撮影
無料で申請用の写真を撮影できます。顔写真持参も可能です。
③自宅にマイナンバーカードが届く
申請から約1か月程度で、



▲役場のパソコンから申請可能!

マイナンバーカードはこんな時に便利

- 電子申告が利用可能
電子証明書を利用して、e-Taxなどの電子申告ができます。
- 公的な身分証明書に
マイナンバーの提示と本人確認がこれ1つで可能になります。
- 町民生活課 戸籍住民グループ
☎42-6615



マイナンバーカードをすでに申請された方へ

役場から受け取りのご案内が届きましたら、通知書を役場に持参し、カードをお受け取りください。開庁時間内の受け取りが難しい場合、休日(第4日曜日)・時間外(毎週木曜日)の受け取りも実施します。事前予約が必要ですので、詳しくはお問い合わせ下さい。

年金相談は事前予約を

米沢年金事務所への年金相談は、スムーズなご案内のため事前の電話予約をお願いします。

- ▼予約受付
1か月前から前日まで
- ▼相談受付
平日午前8時30分～午後4時
- ▼ご予約電話番号
●ねんきんダイヤル
☎0570-051165
●米沢年金事務所
☎2214220

米沢年金事務所へおかけただくと、はじめに下記のとおり自動音声案内が流れます。直接職員への対応を希望する場合は5番を押してください。
※予約の際は、お手元に基礎年金番号の分かる書類(年金手帳、年金証書等)をご用意ください。

町民生活課 戸籍住民グループ
☎42-6615

1	年金の請求やお受け取りに関する一般的な相談	ねんきんダイヤルへ
2	国民年金の加入、保険料納付、免除手続きなどの相談	ねんきん加入者ダイヤルへ
3	健康保険・厚生年金保険の資格や報酬、事業所の新規加入手続きなどのご相談	厚生年金適用調査課へ
4	健康保険・厚生年金保険の保険料のご相談	厚生年金徴収課へ
5	上記1～4以外で年金事務所の職員の対応を希望されるとき	
6	もう一度メッセージをお聞きになるとき	

お詫びと訂正
町報かわにし11月号の8、9頁「年金の日」に掲載したねんきんダイヤルの電話番号を誤ってしまいました。正しくは次のとおりです。お詫びして訂正いたします。
誤) 0238-0511165 正) 0570-0511165

平成29年度
上半期財政公表

各種表彰
監査報告
防災

税関係・年金
マイナンバー

冬のイベント等
子育て応援

勤労者生活応援
文化財

健康福祉①

健康福祉②

くらしの情報

プラザ・町長
ちまる情報

かからない！ うつさない！
冬の感染症対策



冬こそ注意！
ノロウイルス!!

ノロウイルスは、冬に流行する胃腸炎や食中毒の原因になります。乳幼児や高齢者は重症化することもあるので、予防が大切です。

▼しっかり「手洗い」

ドアノブ、スイッチなどみんなの手が触れるところは要注意です。

食事前、調理前後、トイレや汚物処理の後などは石けんでしっかり手洗いを！

▼「食品」からの感染を防ぐ

食材の中心部まで十分な加熱（目安：85℃以上で90秒以上）が必要です。

下痢やおう吐などの症状がある人は、食品を直接取り扱わないようにしましょう。

▼「人」からの感染を防ぐ

感染した人のオムツなどの取扱いは十分注意し、おう吐物の処理は素早く適切にしましょう。

※使い捨てのエプロン、手袋、マスクを着用し、静かにふき取り、塩素消毒後、水拭きをする。
※汚物や手袋等は密閉して捨てる。
○ノロウイルス感染予防の県ホームページもチェックしましょう！

インフルエンザを
予防しましょう!!

☆こまめに、しっかり手洗いをしましょう

☆バランスのとれた食生活と十分な休養を取りましょう

☆適度な湿度を保ちましょう（望ましい湿度は50～60%）

☆普段から「咳エチケット」を心がけましょう

☆流行の時期は人ごみを避けましょう

▼予防接種助成期間

高齢者及び小児のインフルエンザ予防接種：平成30年1月末まで

町健康福祉課 健康推進グループ
☎42-6640

子育て応援
パスポートガイド
ブックの活用を



山形県では、子育てを応援するため「やまがた子育て応援パスポート」を利用できる店舗を紹介するガイドブックを作成しています。

▼内容 協力店でパスポートを提示すると、お得なサービスが受けられます

▼パスポートの対象 妊婦または小学校6年生までのお子さんがいるご家庭

※数に限りがありますので、お早目に次の窓口までお越しください。
「パスポート、ガイドブック」
○町健康福祉課
「ガイドブック」
○町教育総務課（中央公民館）

町健康福祉課 福祉グループ
☎42-6635

雪下ろし作業は安全に行いましょう

1月19日（金）から2月4日（日）は、「雪害事故防止週間」

■ 安全な服装



山形県内での雪による事故原因でもっとも多いのは、自宅など建物の屋根の雪下ろし作業中の事故で、特に高齢者の方が事故に遭うケースが多くなっています。

事故を防ぐために次のポイントに注意して、雪下ろし作業は安全に行いましょう。

安全な雪下ろし作業

「7つのポイント」

- ①作業は2人以上で！
- ②服装は濡れないもの汗をかきすぎないもの（防水・防汗）
- ③はしごはしっかり固定！（足元も先端も。角度は75度以内）
- ④高所作業（2m以上）では命綱は必須！
- ⑤道具はスキルに合わせて。メンテもしっかり！
- ⑥気温が高い時は屋根の雪のゆるみに注意！
- ⑦体調管理は万全に（準備運動で体を温める。早めの水分補給）

また、除雪機での作業も十分注意しましょう！！

町山形県企画振興部市町村課
☎023-63012234



▲命綱をつけ、安全に



初日の出を見に行こう
～スノーシューハイイク参加者募集中～

平成30年の初日の出と一緒に眺めましょう！スノーシュー（西洋かんじき）を履いて高戸屋山を登り、頂上から初日の出を眺めるイベントです。ガイド兼インストラクターが同行しますので、初心者の方でも楽しく安全にハイキングできます。下山後は大光院での初詣（希望者のみ）や、まどかの温泉で初湯をお楽しみいただけます。

▼日時 平成30年1月1日（月）午前5時30分～8時30分頃

※午前7時ごろ山頂到着予定

▼集合 浴浴センターまどか 保険料、ガイド料など）

▼スノーシューレンタル料 1080円（要事前予約）

▼締切 12月22日（金）午後5時

※天候により内容変更または中止になる場合があります。詳しくは、町ホームページをご覧ください。

申込・町観光協会
☎54-11515

小松スキー場安全祈願祭を実施



小松スキー場の、今年1年の安全な運行を記念して、安全祈願祭を執り行います。

▼日時 12月23日（土）

なお、スキー場のオープン日や運行時間、ロープトウの料金などは、詳細が決定次第お知らせします。

利用者のみなさん、ルールを守って、安全に楽しく利用しましょう。

町生涯学習課 生涯学習グループ
☎44-2843

川西町消防出初式を実施



▲平成29年の一斉放水の様子

▼日時 平成30年1月7日（日）午前9時～10時

▼会場 中央公民館前駐車場

町の安全安心を守ってくれている消防団の出初式を開催します。

各分団ごとの分列行進や一斉放水などを行います。

町置賜広域行政事務組合 川西消防署
☎42-3700
町総務課 危機管理グループ
☎42-6612

働くあなたの生活を応援します ～勤労者生活応援のご案内～

勤労者のみなさんの生活支援を目的に東北労働金庫と提携した生活応援制度を設けています。内容は次のとおりです。ぜひご活用ください。

生活応援ローン

資金の使い道ごとに定められた融資制度を選択できます。
▼対象者
会社や商店に1年以上お勤めの、昨年の年収150万円以上の町内在住、在勤の方。
▼保証料
東北労働金庫が負担
◎東北労働金庫
南陽支店
☎4013511

資金用途	限度額	返済期間	金利
生活資金など	100万円	7年以内	3.0%～3.5%
授業料など	300万円	10年以内	2.0%～2.5%
医療、介護、出産、育児など	100万円	7年以内	1.7%～2.2%
自動車に関する資金など	200万円	7年以内	2.1%～2.6%

ふるさと奨学ローン

県内への就職促進のための教育資金融資制度です。卒業後、県内に就職した場合、(公財)山形県勤労者育成教育基金協会の利子補給制度(元金300万円を限度に年2%の利子相当分、上限年6万円)があります。
※今年10月から金利を引下げました。
▼特別金利取扱期間
平成30年3月末日まで
▼融資対象
大学・短大・高校・専門学校
の入学金や授業料、仕送りなどの教育費用

▼融資限度額 1000万円
▼特別金利 (保証料不要・固定金利)
○融資期間5年以内
年1・95%、2・45%
○融資期間5年超7年以内
年2・35%、2・85%
○融資期間7年超10年以内
年2・65%、3・15%
※融資期間は元金据置期間を含みます。
◎東北労働金庫南陽支店
☎4013511

おむつに係る費用の医療費控除証明書を発行します

おむつ代の医療費控除を受けるのが2年目以降の方に、平成29年分の「おむつに係る費用の医療費控除証明書」を町で無料発行します。該当する方は忘れずに担当課へ申請してください。

該当する方

介護保険の要支援認定・要介護認定を受けていて、次の要件を満たす方。

発行の要件

町で保有する介護認定資料(主治医意見書)で、次のすべてが確認できること。
①主治医意見書の作成日が、おむつを使用した当該年であること。
※現に受けている要介護(要支援)認定の有効期間が13カ月以上の方で、当該年に主治医意見書が作成されていない場合は、前年に作成された意見書で確認します。
②「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」が「B1、B2、C1、C2」の

平成29年度
上半期財政公表
各種表彰
監査報告
防災
税関係・年金
マイナンバー
冬のイベント等
子育て応援
勤労者生活応援
文化財



いずれかであること。
③尿失禁の発生可能性が「あり」であること。

申請時に必要なもの

①介護保険被保険者証
②印鑑
③前年に使用した「おむつ使用証明書」の写し(前年に町から「おむつに係る費用の医療費控除証明書」が交付されている方は不要。)
※医師が発行する「おむつ使用証明書」は、診察料などがかかる場合があります。
詳しくは各医療機関へお問い合わせください。
※医療費控除を受けるには、必ず確定申告、町県民税申告を行ってください。
※この証明書は、平成30年1月4日以降に発行します。

◎町健康福祉課 介護支援グループ
☎4216638

障害者控除対象者認定書を交付します

65歳以上で介護保険の要支援・要介護認定を受けている方で、一定の基準を満たす方は、所得税の確定申告や町県民税の申告の際に「障害者控除」の対象となる場合があります。
控除を受けるには「障がい者控除対象者認定書」が必要になります。平成29年分の認定書が必要な方は、町健康福祉課に相談の上、申請手続きを行ってください。

申請時に必要なもの

①介護保険被保険者証
②印鑑
※この認定書は、平成30年1月4日以降に発行します。
◎町健康福祉課 介護支援グループ
☎4216638

1月22日(月) 検診日程を追加

～今年度最後のチャンスです！～



今年度の町の検診日程は終了しましたが、次のとおり追加日を設定しました。各種検診をまだ受けてない方はこの機会にお申し込みください。

▼期日 平成30年1月22日(月)
▼場所 南陽検診センター
▼持ち物 検診票、健康保険証、検体(検尿・検便用)
※無料クーポン券(お持ちの方のみ)
▼申込方法 下記問合せ先に直接申し込み
※日程の都合がつかない方は早めにご相談ください。
※子宮頸がん検診・乳がん検診は、1月31日まで個別医療機関でも受診できます。医療機関に直接予約下さい。

《追加される検診項目と受付時間》

受付項目	受付時間
①総合健診 ・特定健診(国民健康保険加入者) ・がん検診(胃がん、大腸がん、呼吸器検診等) ・肝炎ウイルス検診等	午前8時30分～9時
②国保人間ドック(国民健康保険加入者)	午前7時15分～7時45分
③子宮頸がん検診・乳がん検診	

◎町健康福祉課 健康推進グループ
☎4216640

「イザベラ・バード 記念碑／記念塔」



▲記念碑(左)と記念塔(上)

イザベラ・バード関連本などで広く紹介され、旧埋蔵文化財資料展示館のシンボルとして長い間親しまれてきたモニュメントが、このほどフレンドリープラザ館庭に移設されました。

これらは町合併30周年を記念して昭和60年に建立されたもので、明治時代に当地を訪れたイギリスの女性旅行家イザベラ・バードが、著書『日本奥地紀行』の中で置賜盆地を「アジアのアルカディア(桃源郷)」と絶賛したことに由来しています。
記念碑の碑文はちょうどその場面の英文と訳文で、同書

◎町生涯学習課 生涯学習グループ ☎4412843

をはじめて日本語訳した小松出身の英語学者・高梨健吉氏の筆跡によるものです。奥に立つ記念塔は、山形市銅町の工芸作家長谷川雅山・恵久氏が手がけました。塔頂には洋鐘が掲げられ、ブロンズの太陽と羽ばたく鳥たち、悠然とした牛が見る人をアルカディアへと誘います。
来年にはバードの来日からちょうど140年を迎えます。『日本奥地紀行』を片手に、バードの驚きと発見に思いを馳せながら、ゆかりの地を訪ねてみてはいかがでしょうか。



母子健康手帳交付

〈期 日〉1月9日(火)、22日(月)
 〈受付時間〉午前8時30分～午後5時15分
 〈場 所〉町健康福祉課
 〈持 物〉妊娠届出書
 ※ご都合がつかないときはご連絡ください。

お子さんの健診など

項目	期日・対象者
9-10か月児健康教室	期 日：1月17日(水) 対象者：H29.3～4生まれ
1歳6か月児健康診査	期 日：1月19日(金) 対象者：H28.5.16～6.30生まれ

〈受付時間〉午後1時15分～1時30分
 〈会 場〉生きがい交流館

ぴかぴか歯っぴい教室

〈期 日〉1月18日(木)
 〈場 所〉生きがい交流館

〈対象者〉	〈受付時間〉
平成28年1月生まれの幼児	13:20～13:30
平成27年1月、7月、平成28年11月生まれの幼児ほか	13:30～14:00
妊婦及び夫	13:50～14:00

ママパパ教室

〈期 日〉1月16日(火)
 〈受付時間〉午後1時15分～1時30分
 〈場 所〉生きがい交流館
 〈申込方法〉1月9日(火)まで電話で申込

きらきら親子相談

〈期 日〉1月23日(火)
 〈時 間〉午前9時30分～10時30分
 〈場 所〉子育て支援センターこあら
 〈内 容〉臨床心理士による、育児や子育てなどに関する相談
 〈申 込〉1月15日(月)まで町健康福祉課に電話で

健康運動の集い

〈期 日〉1月15日(月) 午前10時～11時15分
 〈場 所〉生きがい交流館
 〈内 容〉ストレッチ体操、玄米ニギニギ体操など
 〈対象者〉概ね74歳までの自立している方
 〈講 師〉健康運動サポーター
 〈持ち物〉内ズック、飲み物など
 〈申 込〉町健康福祉課まで

町健康福祉課 健康推進グループ
 ☎42-6640

地域包括支援センターだより



「在宅医療と介護の連携」を推進していきます！

「在宅医療と介護の連携」を推進していきます！

「住み慣れた地域で最期まで暮らし続けるために」

町では、重度の要介護状態となってもできる限り住み慣れた地域で療養できるように、平成27年度から在宅医療と介護の連携推進に取り組んでいます。

要支援・要介護認定者を介護する家族を対象に実施した、在宅介護実態調査（平成29年2月～3月）では、約7割の方が、「自宅での生活を続けたい」、さらに約4割の方が「終末期の療養場所も自宅」との回答結果です。



▲11月24日(金)開催の連携会議の様子

果でした。

また、11月24日(金)には、町内の医師、歯科医師、薬剤師、介護支援専門員の代表者による「在宅医療推進会議」を開催しました。在宅看取りや緊急時の対応、重度化防止については、意見交換を行いました。その中には、さまざまな立場の人が関与しながら地域社会とのつながりを持つことが大事、住民一人一人がどこで最期を迎えたいか、選択や心構えができるよう、関係者が正しい情報を随時、提供することが重要であるなどの意見が出されました。

今後、出された意見を反映させ、この町に住んでよかったと思える町づくりを進めていきます。

町健康福祉課 介護支援グループ内 地域包括支援センター ☎42-6638

シリーズ 医療と介護の連携

第9回ご存知ですか？骨粗鬆症

公立置賜病院川西診療所

整形外科医師 山川 淳一氏



からだの骨は、骨を壊す「破骨細胞」と新たに造る「骨芽細胞」の新陳代謝により維持され、3～5年ですべて入れ替わると言われています。この新陳代謝のバランスが崩れることで骨密度が減少し、骨粗鬆症となります。また、骨粗鬆症は単なる「骨の老化現象」ではなく「病的老化」の状態と考えられています。

骨粗鬆症による代表的な骨折に、背骨の骨折（椎体骨折）があります。60～70%は痛みを伴わない骨折であり、「いつのまにか骨折」と言われています。椎体骨折が生じると背骨が曲がり、慢性腰痛や歩行障害、腹部圧迫による逆流性食道炎などが発生し、生活の質（QOL）を低下させます。このため、骨粗鬆症を予

防することは非常に重要です。

置賜総合病院では2重X線吸収法（DXA法）による骨密度測定や血液検査を行い、「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン」に基づいて治療を進めています。治療は食事療法や運動療法、薬物療法を組み合わせておこない、週1回または月1回の内服で治療可能な骨粗鬆症治療薬もあります。

骨粗鬆症は自覚症状のない場合が多く、まずは自分の骨密度を知っておくことが重要です。川西診療所では、置賜総合病院への紹介を行うとともに、総合病院とカルテ（診断書）や検査情報を共有しており、連携した治療を診療所で行えますのでお気軽にご相談ください。

診察日と診療科目

	第1診察室	第2診察室
月	総合診療科 内科 波間所長	整形外科 山川医師 (第2・4週)
火		
水	総合診療科 外科 山田医師	外科 東医師
木		
金	総合診療科 内科 波間所長	内科(週交替) 安日医師 塚本医師 (隔週)

※受付：午前8時30分～11時30分
 午後1時30分～3時30分
 ※診察：午前9時～正午 午後2時～4時 (第3火曜日：往診)
 ※安日医師の専門：糖尿病などの内分泌科
 ※塚本医師の専門：呼吸器科

若者対象！ワンコインでがん検診

山形県では、若い方に健康意識を高めていただくため、下記のとおり健康教室と検診・検査を実施します。がんの正しい知識や予防方法など、健康な今こそ考えてみませんか？

〈期 日〉平成29年12月～平成30年3月 月2回
 〈時 間〉1時間程度 (健康教室、検診・検査)

〈対象者〉20歳代・30歳代の方
 〈検診・検査〉大腸がん検診、肺がん検診、胃リスク検査、乳房超音波検査 (女性のみ)

〈料 金〉各検診・検査 500円 (税込)

〈会 場〉やまがた健康推進機構各検診センター

申込・☎やまがた健康推進機構山形検診センター

☎023-688-6511

子育て支援医療証を郵送します

■ 今月の対象者

年 齢：1歳児～小学6年生

誕生日：12月2日～1月1日

■ 発送日 12月21日(木)

☎町健康福祉課 健康推進グループ ☎42-2114



適正受診を心がけましょう★今月のポイント★

会社を退職して資格を失った保険証や、期限切れの保険証を提示して医療機関を受診された場合は、医療費の保険者負担分を保険者へ返還いただくことになります。受診の際は、お持ちの保険証が有効かどうか確認のうえご使用ください。

子育て支援センターこあらだより

＊ルンロン子育て広場 午前9時30分～11時30分
 12月20日(土) クリスマスコンサート
 平成30年1月10日(土) だんごの木飾りとふれあい遊び

＊町立幼児施設開放日 午前10時～11時
 美郷幼稚園 1月9日(土) 北斗幼稚園 1月17日(土)

＊幼児ことばの相談室 午前9時～(完全予約制)
 平成30年1月15日(日) 申込・☎町教育総務課 ☎42-6671

＊子育て支援センターこあら ☎44-2822

＊年末年始休業のお知らせ
 12月29日(金)～平成30年1月3日(水)まで閉所になります

町健康福祉課 健康推進グループ ☎42-6640

くらしの情報掲示板

お知らせ

食品ロスを削減しましょう

まだ食べられるのに捨てている食品、いわゆる食品ロスは年間約621万トンに上っており、1人1日当たりの量はお茶碗約1杯分(約134グラム)相当です(平成26年度農林水産省推計)。山形県では、食品ロス削減のため、外食時の「おいしい食べ盛り」全国共同キャンペーンを平成29年12月～30年1月まで実施しています。

これから忘新年会シーズンを迎えます。適量注文や開始直後、終了前の「食べ盛りタイム」で食品ロスを減らしましょう。詳しくは「山形県食べ盛り運動」で検索！

山形県循環型社会推進課
023-630-3044

町では、下記の期間で救援金を受け付けます。

とおりです。

▼臨時休業日：平成30年1月1日(月)～3日(水)

前もって営業日に切符を購入するか、車内や降車駅で運賃をお支払いください。

▼窓口営業時間の短縮

12月29日(金)～31日(日)：午前8時45分～午後4時30分

町まちづくり課 地域振興グループ ☎42-6613

相談

住まい・建物よろず相談会(無料)

▼日時：平成30年1月20日(土) 午後1時30分～4時

▼会場

○米沢市 置賜文化センター

○南陽市 えくぼプラザ

▼申込締切：平成30年1月18日(木)

※間取り図作成講座も同時開催します(要予約)

山形県建築士会

023-643-4568

マザーズおしごと相談会 in 米沢

▼日時・内容：平成30年1月22日(月)・2月5日(月)

○午前11時

非紹介患者初診加算料が上がります

現在公立置賜総合病院では、病院と診療所の機能分担をより一層進めるため、他の保険医療機関等からの紹介がなく直接ご来院された患者さんからは、非紹介患者初診加算料として1620円(税込)をいただきますが、平成30年4月1日より、3240円(税込)に変更になります。

なお、非紹介患者初診加算料は、原則窓口負担のない子育て支援医療証、ひとり親等医療証をお持ちの方も、保険診療外の費用のため請求させていただきますので、窓口負担が発生します。

日頃から健康状態や持病などを相談できる「かかりつけ医」を持ち、専門的な治療が必要な場合は、紹介状をお持ちになり受診しましょう。

置賜広域病院企業団
046-15000

「出会の機会がない」、「本気で結婚を考えている」という方、まずはホームページをご覧ください。

「やまがた 出会」で検索

セミナー「就職活動の基本とポイントを知ろう！」(事前申込・定員5名)

○正午～午後2時 個別相談会

※どちらかのみ参加可。

▼会場：ハローワーク米沢

▼対象：就職を考えている子育て中の女性

※受講中や相談中は同室で保育スタッフがお子さんをお

催し

都市計画区域マスタープラン説明会

東南置賜圏域都市計画区域の整備・開発及び保全の方針

預かりします。

マザーズジョブサポート山形

023-665-5915

看護師等修学資金制度のご案内

▼対象者：次のいずれも満たす方

①平成30年度に看護師等養成

広告

お子さまの進学、在学を応援！

国の教育ローン

ご融資額350万円以内(お子さま1人あたり)

【ご相談・お問い合わせ】 0570-008656 (または03-5321-8656)

返済期間 月～金曜日/9:00～21:00 土曜日/9:00～17:00 日曜日、祝日、年末年始(12/31～1/3)はご利用いただけません。

JFC 日本政策金融公庫

1月 無料相談

内容	日時	場所	予約・問合せ先
健康相談 (こころ・ひまこもりの相談含む)	1月9日(火)・22日(月) 午前9時～午後4時30分	町健康福祉課	町健康福祉課 ☎42-6640
弁護士 消費生活相談	1月10日(水) 午後2時～4時	町役場会議室 (電算室)	町住民生活課 ☎42-6618
行政相談	1月17日(水) 午後1時30分～4時	健康福祉センター (旧町立病院2F)	町住民生活課 ☎42-6618
心配ごと相談	毎週水曜日 午後1時30分～4時	健康福祉センター (旧町立病院2F)	川西町社会福祉協議会 ☎46-3040
多重債務相談	毎週火曜日 午後6時～8時	山形さくらんぼの会 事務所(山形市)	山形さくらんぼの会 ☎023-633-9353

12・1月 水道修理当番

080-6008-8330 修理当番直通電話
080-6008-5331

町水道工事業者では、水道の故障、漏水などの際、当番制で修理をお受けします。上記番号で直接当番につながります。なお、調査費や修理費等については実費負担となります。

期間	当番店(社)	電話番号
12月11日～17日	(株)殖産工務所	☎42-3500
	齋藤設備	☎42-2480
	スガイ住建	☎42-3987
12月18日～24日	(株)藤島建設	☎42-3166
	(株)藤倉設備	☎42-3366
12月25日～30日	(株)佐々木建設	☎42-4171
	(株)黒澤技建	☎42-6351
12月31日	(有)米野建設	☎42-2392
	サイトウ電気設備工業(株)	☎42-4111
1月1日	(株)殖産工務所	☎42-3500
	齋藤設備	☎42-2480
	スガイ住建	☎42-3987
1月2日	(株)藤島建設	☎42-3166
	(株)藤倉設備	☎42-3366

期間	当番店(社)	電話番号
1月3日	(株)佐々木建設	☎42-4171
	(株)黒澤技建	☎42-6351
1月4日～7日	(有)米野建設	☎42-2392
	サイトウ電気設備工業(株)	☎42-4111
1月8日～14日	(株)殖産工務所	☎42-3500
	齋藤設備	☎42-2480
	スガイ住建	☎42-3987
1月15日～21日	(株)藤島建設	☎42-3166
	(株)藤倉設備	☎42-3366



ちまるデザイン室

川西町地域おこし協力隊
電話：0238-42-6694
メール：chimaru@ms5.cat.omn.ne.jp

第68回 平成29年を振り返って

何かもが新鮮な1年
齋藤 尚

平成29年もあっという間に過ぎていこうとしていますね。みなさんはどんな1年だったでしょうか。わたしにとっては協力隊・社会人として1年目。なにかもが「新鮮」な1年だったような気がします。

協力隊として活動をする中で、自然に寄り添い、共に生きることの厳しさ、楽しさを強く感じました。自然を相手に暮らすことは、長年積み重ねた知恵や知識・経験が不可欠ということ、町のいたるところで冬支度が始まる様子が物語っているような気がしました。それでも、同じ明日は来ない。少しずつ、でも確実に変化していく環境に対応していかないといけない。そんな未来を楽しむ姿勢も不可欠。そんなことを学びました。自然に寄り添い、時に抗い、共に生きる。そこで暮らす人だからこそのことがある。平成30年、今年の学びを糧に楽しんで挑みたいのです。

～新人隊員の足跡～

デザインした車両が完成
大坪 聡一郎



今年の夏ごろから進めてきた、西大塚の介護タクシー「つばさ」様のデザインを行ってききましたが、完成した車両が納車された、町役場の駐車場で初めて見ることができました。

ストライプデザインが、軽自動車の小さい印象を解消しているなど、図面では見えてこなかった面も多々あり、興味深く見せていただきました。11月15日から営業を開始されたとのことで、興味がありましたら、ご利用いただけたらと思います。

町長室から



町長 原田 俊二

新庁舎整備基本計画を策定しました

先月議会臨時会において、「川西町役場の位置を定める条例」の議決をいただきました。現庁舎の耐震診断の結果を受け、改築のための基金を造成し準備を進めてきましたが、今年度国は、4年間の制限を設けた新たな支援制度を示しました。有利な国の制度を活用するため、時間が限られている中、精力的に計画の取りまとめを進めてまいりました。

特に、建設位置についてさまざまなご意見、ご心配をいただきました。現在地に建設されて58年、町のシンボルとして役場が存在してきました。一方地方分権など時代の変化とともに業務量が増大、分庁舎を増やし業務を遂行してきました。その分、多くのみなさんに不便を来してきました。これらの解消を図り、将来の町の

発展を見据え計画を提案させていただきました。議員のみなさんには、わたし以上にさまざまなご意見が寄せられながら最重要な判断をいただきました。心から敬意を申し上げますとともに、「跡地利用の具体策、住民理解に努める」の2点の庁舎跡地利用に関する決議を尊重してまいります。

町民のみなさんには、各地区説明会やアンケートなどご協力いただき心から感謝申し上げます。これから建設のスタートラインです。今後とも幅広くご意見をいただきながら、みなさんに愛される庁舎を建設してまいります。

今年も残すところ2週間となりました。本格的な降雪期を迎え一層寒さに向かいますが、最近、ガソリンなど油類の価格が上昇しています。さらにアメリカ大統領のイスラエル政策により、中東情勢も波乱が予想され、原油を中東に依存する日本は予断を許さない状況になりました。今後の動向を注視する必要があります。年末を迎え忙しい時期となりますが、安全にお過ごしください。また、良い新年を迎えられますようご祈念申し上げます。

フレンドリープラザ 情報掲示板



チケット ☎ 46-3311 FAX 46-3313
申込・問合せ先 E-mail: friendlyplaza@gmail.com

各種公演の開場は30分前となります。

H30.2月24日(土)・25日(日)開催 春待ち音楽祭演奏参加者募集中!



川西町フレンドリープラザを会場にする「春待ち市」の開催に合わせて、同日プラザのホールにて「春待ち音楽祭」を開催致します。

- ▶日時 平成30年2月24日(土)・25日(日) 午前10時30分～午後4時(予定)
- ▶会場 フレンドリープラザ ホール
- ▶募集内容 一般・学生・団体・個人を合わせて10団体程度

※演奏形態、ジャンルは問いません。

※演奏時間は(デハケを含めて)1団体45分を上限とする予定です。

- ▶募集期限 12月22日(金)まで
- ▶料金 音楽祭への出場・入場ともに無料

山響とみんなで作る音楽会 in 川西 H30.2月3日(土) 午後3時開演



山響と川西中学校吹奏楽部が共演します。ぜひ、会場で生の演奏をお楽しみください。

- ▶日時 平成30年2月3日(土) 午後3時開演(午後2時30分開場)
- ▶会場 フレンドリープラザ ホール
- ▶入場料 (全席自由)
○一般：前売 1,100円(当日：1,300円)
○高校生以下：前売 500円(当日：700円)
- ▶出演
○指揮 伊藤 翔
○管弦楽 山形交響楽団
○共演 川西中学校吹奏楽部

町立図書館・遅筆堂文庫

●1月の休館日

開館時間	日	月	火	水	金	土
火曜日～土曜日 9:30～19:00		1	2	3	4	5
日曜日・祝日 9:30～18:00	7	8	9	10	11	12
●は休館日	14	15	16	17	18	19
	21	22	23	24	25	26
	28	29	30	31		

●1月のおはなし会 おはなしのへや

1月13日(土) 午前11時～11時30分
・おはなし会きらきらさんの紙芝居と読み聞かせ

●おすすめ本コーナー

新春に乾杯! …お酒の本あれこれ…

●夜の図書館

～昼バージョン! 「ポエムリーフ」自作の詩と曲～
日 時: 1月13日(土) 午後2時～
参加費: 無料 出演: 雨音多一さん

こどもの本

『唐木田さんち物語』



いとうみく・作 平澤朋子・画
毎日新聞出版・刊
唐木田家は五男三女の八人きょうだい。写真家で自由人なお父さんは仕事で家を空けがち、しっかりもののお母さんが大家族を切り盛りしています。大家族が織りなすあたたかな家族愛のお話です。

おとなの本

『クリスマスを探偵と』

伊坂幸太郎・文 マヌエーレ・フィオール・絵



探偵のカールはクリスマス・イヴに男を尾行していた。「クリスマスなんて自分には関係ない」と思っていたカールに謎の男が話しかけてきて…。ちょっとミステリアスで読み終わったあと温かい気持ちになれる大人のためのクリスマス絵本です。



▲講師の関川夏央さん

12/3

「井上ひさしのユートピア」を考える

～遅筆堂文庫30周年記念 関川夏央講演会～

12月3日(日)、川西町フレンドリープラザにて「遅筆堂文庫30周年記念 関川夏央講演会」が開催され、町内外から多くのお客様が訪れました。遅筆堂文庫は、8月15日をもって30年を迎えました。その記念行事として、関川夏央さんを講師にお招きし「井上ひさしの「ユートピア」と題して講演をしていただきました。講演会では、井上さんの代表作「ひよっこりひよたん島」を例に、井上演劇が当時の人々に与えた衝撃や、制作の裏話などを、ときおり笑いを交えながら講演していただきました。



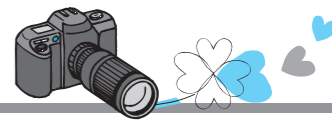
▲第1部の講師 齋藤聖人さん、美友生さん夫婦

11/18

コーヒーで息抜き、振り返る生活の気づき

～川西町男女共同参画講座～

11月18日(土)、川西町農村環境改善センターで「川西町男女共同参画講座」を2部構成で開催しました。第1部では、カフェの運営経験を持ち、「スーツ農家」として農業の魅力を発信している、家福米ファームの齋藤聖人さん、美友生さん夫婦(上小松)を講師にお招きし、コーヒーを例にした息抜きの大切さを学びました。第2部では、県男女共同参画推進員の有川富子さんが講師となり、グループワーク形式で男女共同参画に対する意見交換を行いました。



11/5.12

収穫の秋を喜び、各地区で感謝祭開催

～各地区収穫感謝祭～

11月5日、12日の2週間にわたり、各地区で秋の収穫を祝う感謝祭が開催されました。各地区とも工夫を凝らしたアトラクションやつきたてお餅の振る舞いなどを行い、会場は大盛況でした。

- ①東沢地区 「小学生学習発表会」
- ②小松地区 「小松幼稚園和太鼓演奏」
- ③大川地区 「品評会の表彰式」
- ④吉島地区 「東北大学の学生との交流」
- ⑤大塚地区 「新米とステーキの振舞い」
- ⑥中郡地区 「自慢の野菜たちの品評会」
- ⑦玉庭地区 「小学生学習発表会」



▲受賞を喜び川西町子ども観光大使ラダリア

ラダリアが第21回ボランティアスピリットアワードを受賞!

～他3社・ブルデンシヤル生命、ブルデンシヤルジブララファイナンシヤル生命、日本教育新聞社

川西町子ども観光大使ラダリアが、ジブララ生命他3社(※)が主催する第21回ボランティアスピリットアワード北海道・東北ブロック賞を受賞し、12月15日から大阪府で開催される全国大会に出場してきます。この賞は青少年のボランティア活動を行う団体に贈られる賞で、全国大会ではプレゼンテーションを行い、米国親善大使賞をはじめとした受賞団体が決定します。ラダリアは現在17名で活動し、中学生メンバーが後輩の指導を率先して行うなど、人材育成の面でうまく機能していることが受賞に繋がりました。



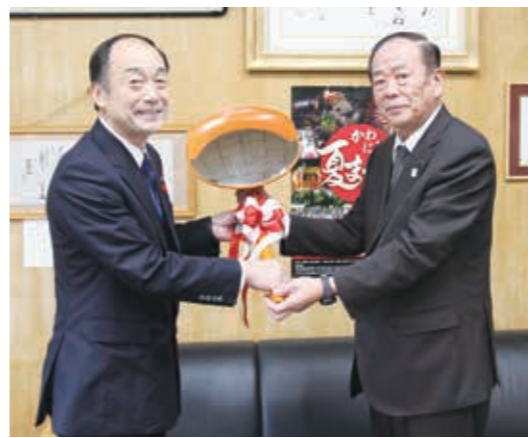
▲上段左から 渡邊彩香さん、五十嵐響希さん、山口紅映さん、下段左から原田裕加さん、リーダー高橋優紀さん、我妻季々花さん(川西在住)、遠藤遥さん

11/28

豆ガールズが見事グランプリに輝く

～2017年やまがた公益大賞授賞式～

11月28日(火)、「豆のあるまちかわにし」を全国に広める活動を行う置賜農業高校の「豆ガールズ」が、地域住民との連携や担い手育成に繋がる活動が高く評価され、2017年やまがた公益大賞のグランプリに輝きました。豆ガールズは、今年度で3年目。18人で町の伝統野菜である紅大豆の栽培及び伝統料理の継承、食育の3つを「豆学・豆伝・豆育」と称して広く活動を展開しています。今後も、町のPRのため継続して活動を行ってくださることを期待します。



▲鈴木代表理事専務に手渡ししていただきました

11/17

カーブミラー5基を寄贈いただきました

11月17日(金)、山形おきたま農業協同組合と全国共済農業協同組合連合会山形県本部から、カーブミラー5基を寄贈いただきました。この寄贈は昭和48年から毎年いただいております。今年で通算280基を寄贈いただきました。この日は山形おきたま農業協同組合の鈴木覚 代表理事専務にお越しいただき、町長に目録をお渡しいただきました。町では、このカーブミラーを活用し、交通事故防止に役立てていきたいと思っております。



▲大迫力の「高山バンザイ」

11/11

奏であい、ホールに響く音の祭典

～第24回川西町音楽見本市～

11月11日(日)、川西町フレンドリープラザで第24回川西町音楽見本市が開催されました。町内小学生から社会人まで9団体約200名が出演し、ホールいっぱいに奏であう音楽で観客を魅了しました。今回は、22年連続で出演してきた高山小学校が、中郡小学校と統合されるため、最後の演奏となりましたが、児童23名、保護者9名、教職員9名の総勢41名が、先輩たちが築き上げた歴史と音楽見本市への思いを胸に渾身の演奏を魅せてくれました。

おめでとう そしてありがとう

… 11月受付分…

ようこそ赤ちゃん 7名

氏名	性別	保護者	大字
那須 弘友紀	男	和明・多紀子	高山
玉田 和暉	男	義信・絵里子	玉庭
土屋 成吾	男	誠・弘美	上小松
佐藤 怜	女	清博・葵	上小松
船山 詩穂	女	勝司・麻美	小松
齋藤 結月	女	彰文・有美	時田
須貝 菜央	女	哲也・沙織	朴沢

ご結婚おめでとう 5組

新郎	新婦	大字
高橋 達也	大河原 萌美	小松
村山 和浩	菅野 智子	尾長島
加藤 哲也	市川 遥	上小松
梅津 孝一	三浦 春子	上小松
伊藤 聖人	佐藤 綾	上小松

ご冥福を祈ります

氏名	年齢(満)	大字
須貝 昭二	88	小松
鈴木 ミヨ	91	尾長島
小形 富雄	83	下平柳
鈴木 幸子	90	下奥田
星野 ヨシ	86	吉田
石田久美子	45	小松
齋藤利兵衛	87	大舟
安部みつの	94	西大塚
高橋しづ子	93	上小松
金子 昌三	81	西大塚
遠藤 和雄	76	上小松
玉田 やゑ	100	玉庭
遠藤 敏子	87	時田
漆山 敏子	88	中小松
淀野 宇一	67	上小松

【おめでとう そして ありがとう】は、11月に掲載の申し込みがあった方のみ掲載しています。氏名は、申込書のとおり掲載していますので、戸籍や住民基本台帳の表記と異なる場合があります。

七五三、終われば戻る、じゃじゃ馬に…
(佐藤弘明・千恵美・上小松)

佐藤 紅羽ちゃん(3歳)



菅木 昇一郎くん(11カ月)
ここに昇ちゃん、もうすぐ1歳!
(菅木一茂・雪華・吉田)

わが家のおぼご 毎月掲載募集中!

○町内在住で小学校入学前のお子さんに拡大!
○小学校入学前の子のお兄ちゃん、お姉ちゃんも一緒に掲載できます!

【わが家のおぼご】小学校入学前のお子さん大募集(毎月先着3組まで)
ご希望される方は、「保護者氏名」「連絡先」「お子さんの名前(ふり仮名付)・年齢」「メッセージ(20字前後)」を記入し、写真をメールで送付ください。▶1月号募集期間:12月15日(金)~1月5日(金)
▶応募先:町まちづくり課 情報統計グループ ☎42-6668
メール koho@town.kawanishi.yamagata.jp

12月の町税等

- 町・県民税(4期)
 - 国民健康保険税(6期)
 - 介護保険税(6期)
 - 後期高齢者医療保険税(6期)
 - 水道・下水道料金(11月使用分)
- 口座振替日 12月25日(日)
納付期限 12月25日(日)

川西町の人口

15,538人 (-28)
男 7,612人 (-15)
女 7,926人 (-13)
世帯数 5,104世帯(-4)

※11月末日現在の住民基本台帳人口

◆町公式フェイスブック◆
町の最新情報が写真とともに届きます。
「いいね」を押して情報をチェック!

そうだ! 森のマルシェに行こう!

上杉鷹山が推奨した
冬場の貴重なタンパク源



玉庭農産物加工センターのみなさん

さまざまな種類のむくりぶなを3月いっぱい出荷しています。ぜひ、「しよりしより」という、特徴的な食感を楽しんでください。

営業時間変更のお知らせ

12月から来年3月いっぱい、営業時間が次のとおりになります
○営業時間:午前10時~午後6時
○休業日
1月~2月:毎週水曜日
3月~12月:毎月第4水曜日
○12月の定休日:12月27日(水)
☎かわにし森のマルシェ
☎42-6664

今月の旬の食材は「むくりぶな」です。「むくりぶな」は冬場の貴重なタンパク源として、米沢藩9代目藩主の上杉鷹山が推奨したと伝えられています。きれいな水と豊かな自然の中で育った10センチ程のぶなを水揚げしてから一度焼きを入れ、その後冷凍し、油で揚げることで2回、手間暇をかけることで骨までサクサク食べられるようになります。かわにし森のマルシェでも「むくりぶな」の販売が始まりました。お歳暮向けのものや、大小さまざまな種類があります。現在も冬の間だけ少量生産される希少品となっていますので、是非期間限定の味をお楽しみください。

私たちの健康は 私たちの手で



~食生活改善推進員 活動紹介~

よりよい食生活の普及を目指し、地域での活動を進めるボランティアが「食生活改善推進員」です。みそ汁の塩分濃度測定や減塩食の普及など、さまざまな活動を実施しています。

玉庭地区食改では今年も「おやこ食育教室」を開催しました。保育園児から5年生までの子供達が楽しそうに調理しました。当日は、「鶏肉のアップルソース」を調理、余ったりんごをうさぎに切るのにも挑戦しました。大変でしたが、大人の人に聞いて包丁もうまく使えました。将来は料理長かコック長かな。みんなでおいしくいただきました。(文責 玉庭地区食改推進員)



鶏肉のアップルソース焼き



＊材料<4人分>

- 鶏もも肉 1枚 ○油 大さじ1
- たまねぎ 40g ○しょうゆ 小さじ4
- りんご 1/4本 ○みりん 小さじ2
- にんにく 4g **A**
- ブロッコリー 120g (付け合せ)

＊作り方

- ①りんごと玉ねぎ、にんにくは皮をむきすりおろす。
- ②鶏肉は厚みが均等になるように注意しながら一口大に切り、**A**の材料を混ぜ合わせたものに漬け込む。
- ③フライパンに油をしき、②の鶏肉を両面焼く。(漬け汁は残しておく。)
- ④鶏肉の表面がきつね色に焼けたら、漬け汁を回しかけ、フタをして蒸し焼きにする。
- ⑤皿に鶏肉を盛り付け、ブロッコリーを添える。

(一人分当たり:エネルギー 185kcal 塩分相当量 1.0g)

☎町健康福祉課 健康推進グループ ☎42-6640

未来に向かって ~第21回~

将来は、食育をとおして地域に恩返しを



**第68回日本農業クラブ全国大会 意見発表会Ⅲ類 ヒューマンサービス
最優秀賞・文部科学大臣賞受賞！**

置賜農業高等学校3年生 高橋 優^{ゆき}紀さん（飯豊町）

わたしは、10月24、25日に岡山県で行われた「第68回日本農業クラブ全国大会」に、東北代表として出場し、意見交換会Ⅲ類ヒューマンサービスで「豆育で広がる夢への挑戦 …伝統の食文化を継承する管理栄養士への道…」と題した意見発表を行い、見事最優秀賞・文部科学大臣賞をいただきました。

わたしは、中学校の頃から食に興味を持ち、高校では「豆ガールズ」として、豆を使った食育「豆育」として、地域の小学生たちに豆の文化を伝えています。子どもたちにわかりやすく伝えるための教材づくりにも一生懸命取り組んでいて、豆釣りゲームや豆育すごろく、豆育人形劇などをとおして、子どもたちが川西町の豆文化を知り、それを大人になっても忘れずに、次の世代に伝えていってほしいと思っています。

また、この経験を活かすために、管理栄養士になるための勉強を頑張っています。将来は、地域の食や健康を育む行政栄養士として、食育などでお世話になった地域に恩返ししていきたいです。



自分たちの手で料理を作り、「できた」「楽しい」がたくさん体験できた「かわにしまちキッズキッチン」。子どもたちの安全に配慮し、サポートしてくれたスタッフのみなさんに感謝。

編集後記

表紙写真を撮るため、キッズキッチンの取材へ。子どもたちが計4品を、4人の班で協力して作りました。もちろん包丁やピーラーを使う機会もあり、保護者でないわたしも、ひやひやしながら見守り、上手に切れた時には思わずホッとしていました。平成29年も残すところ2週間ちょっと。今年1年、みなさんの暮らしにとって町報かわにしはお役にたてたでしょうか。平成30年の町報かわにしに、みなさんにとってより身近な存在になるよう頑張ります。それではよいお年をお迎えください。

（大）